

インターネット回答がおすすめ

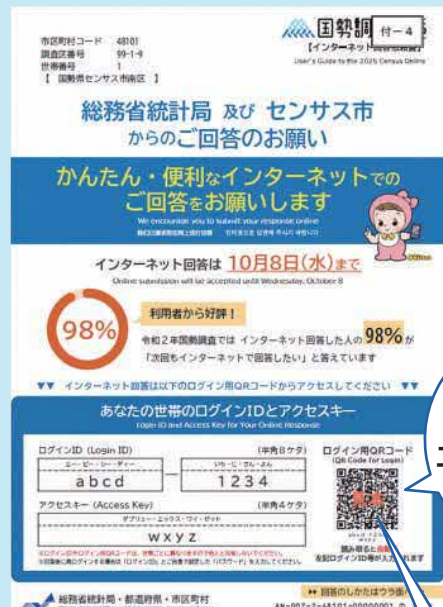


24時間、いつでも、どこでも都合の良い時間で回答することができ、紙の調査票を提出する手間も省けます。また、インターネット回答は記入漏れを自動でチェックします。

インターネット回答方法

①アクセスする

スマートフォン端末やパソコンから回答サイト「国勢調査オンライン」にアクセスし、「ログインID」と「アクセスキー」でログインします。



配布された調査票にある
二次元コードより
アクセス



※ログイン用二次元コードでアクセスする場合は、世帯のログインIDとアクセスキーが自動入力されて表示されますので、そのままログインすることができます。

②回答する

画面の案内に従って回答します。最後にパスワードを設定し、送信ボタンを押すと終了です。

9月下旬～

調査員がお宅を訪問します

国勢調査の調査員は、町の推薦で総務大臣が任命した非常勤の国家公務員で、調査員証と専用の手提げ袋を持っています。調査員は、9月中旬から各世帯を訪問し、家族の人数、回答方法を聞き取りのうえ、調査書類を配布します。



回答期間



インターネット
9/20(土)～10/8(水)



調査票(紙)
10/1(水)～10/8(水)



個人情報を守られます
調査員をはじめとする調査関係者には、調査で知り得た情報の保護や調査票の取り扱いについて、統計法で厳格な規定が設けられています。世帯から提出された調査票の封筒に封がされている場合は、調査員は開封せずにそのまま町に届けます。また、インターネット回答は、入力内容を暗号化して送信するほか、不正アクセスを24時間監視します。
なお、回答内容は、統計の作成・分析以外の目的で使用されることはありません。

その一筆が



町をつくる

国勢調査 2025

日本で最も重要な統計調査

国勢調査は、統計法に基づき、日本に住む全ての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査です。大正9年(1920年)にスタートした国勢調査は、5年に一度行われ、調査の結果はまちづくりにも大きな影響を与えます。

国勢調査 How To

●問い合わせ 役場総合政策課 総合政策係 ☎096(293)3118

全16問でかんたん!

世帯数の人数や出生の年月、職業など、世帯に関する全16問で構成されています。住民票の有無にかかわらず、普段住んでいる場所や生活状況などを調査します。

回答の義務あり

統計法により回答する義務が定められています。回答を拒んだり、虚偽の回答を行った場合の罰則規定があります。



全世帯が対象

10月1日時点で日本に住むすべての人と世帯が対象です。生まれたばかりの赤ちゃんや、外国籍の人を含めます。



そのほか、次の人も対象です。

- ・宿泊施設に3カ月以上滞在している人
- ・宿泊施設への滞在が3カ月未満でも、3カ月以上滞在する見込みの人
- ・仕事などの関係で住居が一定していない人



あなたのデータが未来を動かす

「自分一人が調査に協力しなくても、調査結果には何も影響しない」と思うかもしれませんが、みなさんの調査結果は、公的機関はもちろんのこと、企業や学術団体でも活用され、私たちの暮らしを支える重要な情報基盤となっています。

調査結果は何に使われる?

- ① 法定人口 衆議院小選挙区の各選挙区の人口が均衡するように、国勢調査の「人口」をもとに小選挙区は改定されます。
- ② 地方交付金 どの自治体も一定の行政サービスを提供できるように、政府が国税の一部を「地方交付金」として配分します。その算定に国勢調査の結果が使われています。
- ③ 学術研究・経営判断 学術研究や企業、団体の製品・サービスの開発や消費者の需要予測に利用されています。また、民間企業が新しい店舗の立地を検討する際の判断材料としても利用されています。
- ④ 行政施策 子育て環境の整備や、高齢者・児童福祉など各種施策の基礎資料を作成するために、活用されています。

